

2024年度 授業計画(シラバス) 日本コンピュータ専門学校

学科名		学年	授業のタイトル(科目名)	
工業専門課程 デジタルクリエイター科		2	コミュニケーション技法	
授業の種類		授業担当者	実務経験	
<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習		小林 一男	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
<b>[実務経験歴]</b>				
一般企業で9年間システム運用・開発と通信機器の運用・管理を担当				
単位数(授業の回数)		時間数	配当時期	必修・選択
2 単位 ( 30 回 )		60 時間	<input type="radio"/> 前期 <input type="radio"/> 後期 <input checked="" type="radio"/> 通年	<input checked="" type="radio"/> 必修 <input type="radio"/> 選択
<b>[授業の目的・ねらい]</b>				
生活や職場でのコミュニケーション能力を養う。				
<b>[授業全体の内容の概要]</b>				
①状況判断力、情報解釈力、自己表現力 ②敬語の使い方 ③職場でのコミュニケーション方法				
<b>[授業終了時の達成課題(到達目標)]</b>				
積極的にコミュニケーションを取れるようになる				
<b>[準備学習の具体的な内容]</b>				
日々、人と関わっていく姿勢を持つ。				
<b>[使用テキスト]</b>		<b>[単位認定の方法及び評価の基準]</b>		
使用テキスト  参考文献 コミュニケーション検定公式ガイドブック&問題集		定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。 ・試験の点数は60点以上を合格点とする。 ・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。 評価基準 定期試験80%、平常点(出席、講義の参加度)20%とする。		
<b>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</b>				
1回	コミュニケーションについて			
2回	インタビュー			
3回	ノンバーバルコミュニケーション①			
4回	ノンバーバルコミュニケーション②			
5回	異文化コミュニケーション①			
6回	異文化コミュニケーション②			

7回	グループディスカッション
8回	まとめと振り返り
9回	あがらない方法①
10回	あがらない方法②
11回	敬語①
12回	敬語②
13回	あいさつ
14回	電話のかけ方
15回	まとめと振り返り
16回	協力して課題作成①
17回	協力して課題作成②
18回	男女の考え方の違い①
19回	男女の考え方の違い②
20回	効率的な考え方
21回	雑談の方法
22回	空気を読む
23回	まとめと振り返り
24回	敬語③
25回	敬語④
26回	ビジネスマナー①
27回	ビジネスマナー②
28回	アポイントを取る方法
29回	取引先への訪問方法
30回	まとめと振り返り